

都市再生整備計画(第1回変更)

ふるたかまつ
古高松地区

かがわ たかまつし
香川県 高松市

平成19年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	香川県	市町村名	高松市	地区名	フルタツマツ 古高松地区	面積	355 ha
-------	-----	------	-----	-----	-----------------	----	--------

計画期間	平成 17 年度 ~ 平成 19 年度	交付期間	平成 17 年度 ~ 平成 19 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標			
大目標 「地域みずからのまちづくり」の推進			
目標1 地域コミュニティ活動の活性化のために、地域住民が自主的かつ主体的な地域活動や地域社会の共通課題の解決に取り組むことのできるよう、自主的なまちづくり活動を支援し、基盤となる地域コミュニティの活性化を図る。			
目標2 自主防災組織の結成および自主防災活動の促進等により、地域における防災機能を強化し、災害に強い「まちづくり」の実現を目指す。			
目標3 幼児、児童や高齢者等の社会的弱者を犯罪から守り、誰もが安全で安心な生活が送れるよう、地域における防災機能を強化し、「安全で安心なまちづくり」の実現を目指す。			

目標設定の根拠			
まちづくりの経緯及び現況			
古高松地区は、北は屋島、東は牟礼町、西は春日川に接し、古くから発展してきた高松市東部に位置する地域である。同地区の北部地域には、国道、県道、JRが東西に走っており、国道、県道の沿線には商店が密集し、また中央部は都市計画道路が貫通し、その周辺は都市化が進み、また南部地域にかけては農村地域として残り、全体として新旧住民が混在する地域でもある。このような地域的背景から、市民ニーズの多様化、自治会加入率の低下等により、連帯感が薄れ、地域としての力が脆弱となってきた現状を踏まえ、自治会等の地域団体やボランティア等の協調により、地域住民の創意と協力のもと、住みよい地域社会を構築することを目的とした地域コミュニティの構築を推進している。古高松地区においては、平成15年度に、地域の各種団体等で構成した地域コミュニティ組織を結成し、現在、互いの連携のもとに住民みずからのまちづくりを進めている。			
課題			
<ul style="list-style-type: none"> 「地域みずからのまちづくり」を推進するため、自治会を中心とした各種団体等による地域コミュニティ組織を構築してまちづくりに取り組んでいるが、地域コミュニティ活動をより一層活性化し、効果的に実施するため、地域住民が自主的かつ主体的に地域活動や地域社会の共通の問題解決に取り組むことができるためには、活動交流拠点としてのコミュニティセンター等の整備が必要、不可欠である。 近い将来に発生が予想される南海地震への対策など、地域コミュニティで取り組む防災活動に対し、ソフト・ハードの両面から、行政の積極的な支援策が求められている。 都市化の進展等により、地域の連帯感や活力が薄れつつある中で、急激な増加傾向にある街頭犯罪の未然防止など、安全で安心なまちづくりの推進に対して、行政と地域が協働して取り組む必要がある。 			
将来ビジョン(中長期)			
地域再生計画による地域コミュニティ活性化プロジェクトが認められたことにより、市民と行政とのパートナーシップによるまちづくりを基本に、ソフト、ハードの両面から「こころふれあうコミュニティづくり」を推進し、魅力と活力にあふれる地域社会の再生のために、市内全域において取り組むことにより、本市の目指すべき都市像「笑顔あふれる 人にやさしいまち 高松」の実現を目指す。			

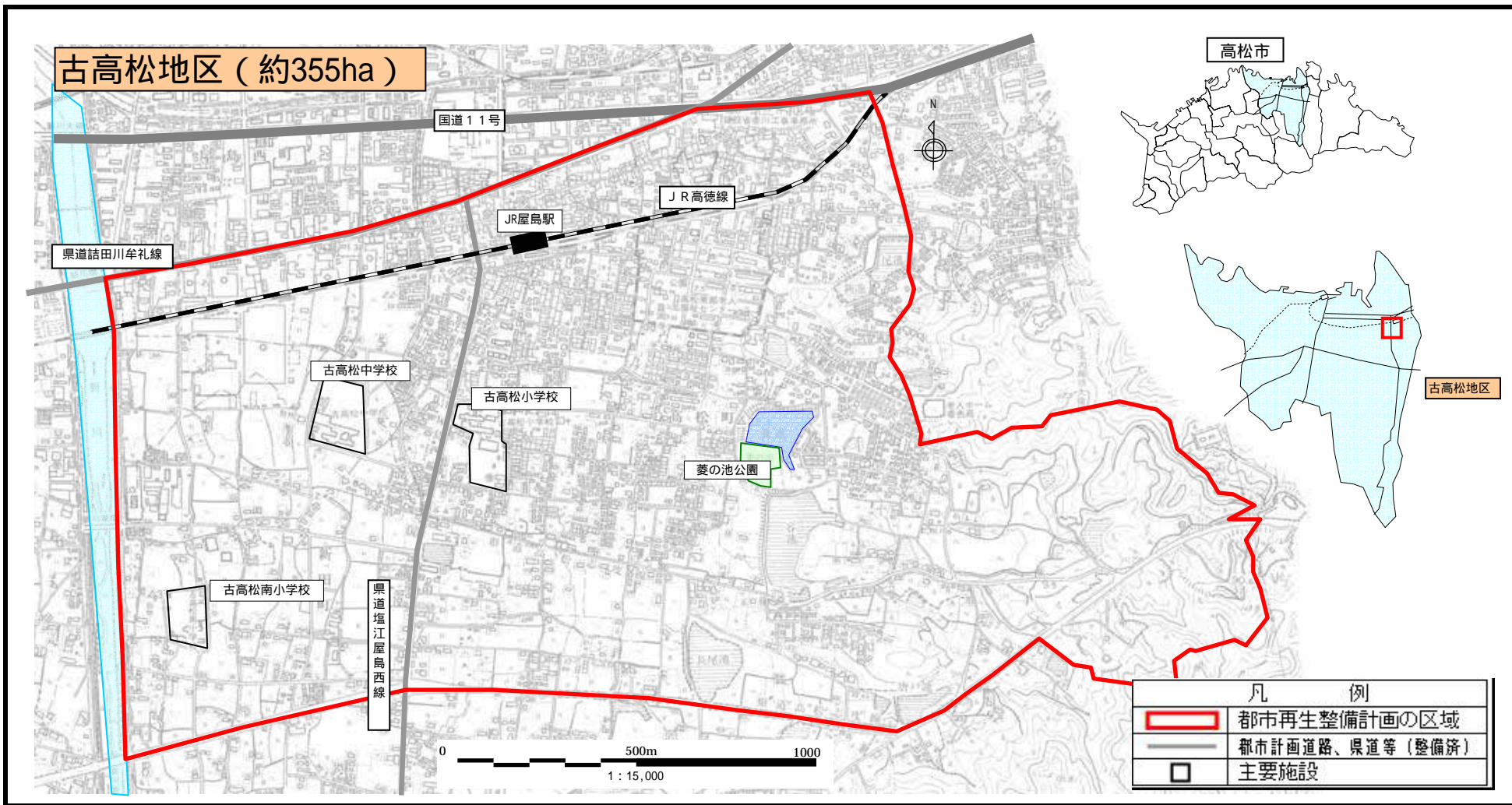
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値		目標値	
					基準年度		目標年度
コミュニティセンターの利用者数	人 / 年	地域住民等が利用するコミュニティセンターの利用者数	地域コミュニティ活動の拠点施設として活用されることにより、地域コミュニティの活性化に繋がる。	30,000人	平成17年度	40,000人	平成19年度
自主防災組織の結成率	世帯数 (自主防災組織が結成された自治会への加入世帯数 / 自治会加入全世帯数)	自主防災組織への加入世帯数	地域コミュニティ活動の基盤として、自主防災組織の結成を促進することにより、防災活動を推進する。	1,709世帯 (53.3%)	平成17年度	2,563世帯 (80%)	平成19年度
街頭犯罪の発生件数	件 / 年	地域内での街頭犯罪の年間の発生件数	地域コミュニティ活動の一環として、地域における防犯活動等を促進し、犯罪のない安全で安心なまちづくりを推進する。	140件	平成17年度	100件	平成19年度

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>・地域コミュニティの活動を活性化するため、まちづくりの拠点となる施設等の整備を行うことにより、まちづくりや生涯学習、地域保健福祉、スポーツレクリエーション等も含め、地域におけるふれあいや交流を図る。</p>	<p>古高松地区コミュニティセンター整備事業(高次都市施設整備) 古高松保健ステーション整備事業(提案事業) 地域ふれあいウォークルート表示整備事業(提案事業) 東部運動公園整備事業(関連事業) 地域ふれあい交流事業(関連事業) 高齢者を地域で支え合うまちづくり推進事業(関連事業)</p>
<p>・災害に強いまちづくりを目指すため、自主防災活動を推進する中で、地域における防災機能を強化するため、狭隘道路の拡張、耐震性貯水槽の整備、避難場所となる屋内運動場床の補強等の環境整備を行う。</p>	<p>市道改良工事(道路) 耐震性貯水槽整備事業(地域生活基盤施設) 消防屯所整備事業(提案事業) 避難施設案内板整備事業(提案事業) 古高松中学校屋内運動場床改修事業(提案事業) 古高松南小学校校舎耐震診断事業(提案事業) 河川改修事業(関連事業)</p>
<p>・幼児、児童や高齢者等の社会的弱者を、犯罪から守るとともに、自転車、オートバイ盗等の街頭犯罪を未然に防止し、犯罪の発生を抑止することにより、誰もが地域で安全に安心して生活ができるための環境整備等を行う。</p>	<p>JR屋島駅前駐輪場整備事業(地域生活基盤施設) 安全・安心活動基盤整備事業(関連事業) 安心安全ステーションモデル事業(関連事業) 小学校防犯カメラ設置事業(提案事業) 防犯灯整備事業(関連事業) 県道拡張工事・歩道、バスストップ整備事業(関連事業)</p>
<p>その他</p> <p>事業終了後の継続な地域コミュニティの構築と活性化 当該地区で、地域コミュニティの活動拠点が無く、地域住民参加による継続的な事業展開が困難な状況にあることから、地域コミュニティの拠点施設を整備することにより、継続的な地域コミュニティを醸成する中で、「地域みずからまちづくり」を実現する。 地域のコミュニティ協議会が中心となって、地域のコミュニティプラン(まちづくり計画)を策定し、それに基づくまちづくり活動を行う。</p> <p>交付期間中の計画の効果的な管理について 交付期間中においては、事業を円滑に進め、目標へ向けて確実な効果をあげるため、地域のコミュニティ組織等関係機関との連携を図り、事業進捗の把握に努める。</p> <p>各事業の役割について 小学校防犯カメラ設置事業(提案事業)、安全・安心活動基盤整備事業(関連事業)、安心安全ステーションモデル事業(関連事業)、県道拡張工事・歩道、バスストップ整備工事(関連事業)、防犯灯設置事業(関連事業) - 幼児、児童や高齢者等の社会的弱者を、犯罪から守り、誰もが地域で安全に安心して生活ができるための環境整備等を行うための事業。 古高松中学校屋内運動場床改修事業(提案事業)、古高松南小学校校舎耐震診断事業(提案事業)、消防屯所整備事業(提案事業)、避難施設案内板整備事業(提案事業)、河川改修事業(関連事業) - 災害に強いまちづくりを目指すため、自主防災活動を推進する中で、地域における防災機能の拠点等を確保し、あわせて災害時における環境整備を行うための事業。 地域ふれあいウォークルート表示整備事業(提案事業)、地域ふれあい交流事業(関連事業)、高齢者を地域で支え合うまちづくり推進事業(関連事業)、東部運動公園整備事業(関連事業) - 活動拠点を中心とした、活力と連帯感のある地域保健福祉、スポーツレクリエーション等を含めた総合的なまちづくりを推進し、コミュニティセンター、古高松保健ステーション等の利用を促進するとともに地域の活性化を図るための事業</p>	

都市再生整備計画の区域

古高松地区(香川県高松市)	面積	355ha	区域	高松市(高松町,春日町,新田町の一部)
---------------	----	-------	----	---------------------



古高松地区（香川県高松市）整備方針概要図

目標 大目標：「地域みずからのまちづくり」の推進 目標1：地域コミュニティ活動の活性化のために、地域住民が自主的かつ主体的な地域活動や地域社会の共通課題の解決に取り組むことができるよう、自主的なまちづくり活動を支援し、基盤となる地域コミュニティの活性化を図る。 目標2：自主防災組織の結成および自主防災活動の促進等により、地域における防災機能を強化し、災害に強い「まちづくり」を目指す。 目標3：幼児、児童や高齢者等の社会的弱者を犯罪から守り、誰もが安全で安心な生活が送れるよう、地域における防犯機能を強化し、「安全で安心なまちづくり」の実現を目指す。	代表的な指標 コミュニティセンターの利用者数（人／年）	30,000人（17年度） 40,000人（19年度）
	自主防災組織の加入世帯数（自主防災組織結成自治会への加入世帯／自治会加入全帯）	1,709世帯（17年度） 2,563世帯（19年度） （53.3%） （80.0%）
	街頭犯罪の発生件数（件／年）	140件（17年度） 100件（19年度）

